

ゆん・なんニュースレター

第37号 令和2年 12月 10日


「Go to travel」も始まって、小旅行に行った方からお土産をいただいたりして、新型コロナも治まりつつあるかなと思われていた矢先、ヨーロッパでのコロナ禍拡大(第3波の襲来)で、またまたロックダウン(都市閉鎖)されたりと日本も感染者が増えてきていて、深刻さを感じるこの頃です。ゆんたく・なんくるの子どもたちもスタッフも「マスク」「手洗い」「うがい」を徹底した日常を生活しています。帰宅したらまず手洗い・うがいともう生活の一部になりました。

京都、西京区にも柿の産地で有名な「大枝」があります。大枝の柿は富有柿で大きくて甘いです。今年も大枝の柿を楽しみました。そして、ゆんたくの庭の柿の木からも初めて2個の柿を収穫しましたよ。味はどうか？甘いか？富有柿だと信じてるけど！？まだまだ固いのもう少し熟してからと待つことにしました。「食べるのが楽しみ！！」コロナ禍の中でのささやかな喜びの一つです。

「マララ・ユスフザイさんがオックスフォード大学を卒業」のニュースを見ました！


2008年、マララさんの住むパキスタンの村は、イスラム過激派のパキスタン・タリバンにより制圧され、女性の教育が禁じられました。マララさんはその事実をイギリスの公共放送BBCのブログを通して訴え、注目されるようになりました。しかし、タリバンの標的となり、15歳の時に、スクールバスの中で銃撃されました。一命を取り留め、イギリスに逃れたマララさんはその後活動を続け、17歳の時には史上最年少でノーベル平和賞を受賞しました。そんなマララさんが今年、自分自身も大学までの教育を終えて卒業したのです。今では22歳になりました。「オックスフォードで『哲学・政治・経済』課程を修了したところで、この喜びと感謝の気持ちは表現しきれません」とマララさんはSNSに書き込みました。「先ことはわかりません。今はただ、Netflixで動画を見て、読書をして、(試験勉強で睡眠不足なので)眠りたい」併せて、2020年の卒業生に向けての励ましのメッセージを載せています。そのメッセージは次号でお知らせしますね。・・・ See you!!

ゆんたくホームのゆんたくさびら

(おしゃべりしましょう)

 新しいメンバーが加わって賑やかに
 になりました。年齢の一つ、二つ違いは話題には事欠
 かないようで、食後にオープンする女子会では笑い
 声が弾んでいます。まさしくゆんたくホームのゆん
 たく(おしゃべり)に花が咲くって感じですね。ipad
 (日本財団からファミリーホーム協議会に寄付して頂いた
 ものです)を囲んで(覗き込んで)しゃべっていま
 す。YouTubeもよく見ているようで、「〇〇って知っ
 てる？」聞かれてもスタッフは首を振るばかり。説明
 してもらっても右から左に流れていくのみ。まあ、
 知らなくてもいいか!!

なんくるはなくなるないさ～

(なんとかなるよ～)


 先日、Aちゃんが20歳の誕生日を迎
 えました。引越しの日には自分の部屋の片づけ、
 きちんとゆんたくにも挨拶をしに来てくれまし
 た。これから年を重ねていくにつれて様々な困難
 もあると思います。時には立ち止まって休憩をし
 ながら元気に成長してくれることを祈っていま
 す。そしてなんくるでは子どもたちの部屋に鍵を
 取り付けました。自分たちで鍵・部屋を管理して
 います。個人のスペースが確保されるとともに、
 これも自立に向けた第一歩！一人暮らしをした時
 の予行練習になれば…と考えています。



らいげつ あんない
来月のキッチンゆんたくのご案内
 2021年

1月21日(第3木曜日) かいさい開催

よてい
 予定メニュー

・ゆんたく〇〇〇?



12月のキッチンゆんたく
 メニュー

- ・ゆんたくシチュー
- ・キャベツサラダ

テイクアウトです!!

5:30~6:30の間に
 もらいにきてね。

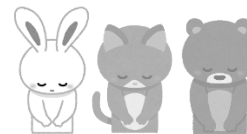
子ども 50円

大人 100円

マイバッグ、持ってきてくださ〜い

Thanks

きんりん かいしゃ さま きんいっぼう しょうねんほどうさま
 近隣の会社K様より金一封、少年補導様よりサツマイモをいただきました。
きょうと にく のぞ しょくざいすべ
 また、フートバンク京都様よりお肉を除くカレーの食材全てをいただきました。
 皆さま、いつもありがとうございます。



Thanks ♪



かみしばい えほんしょうかい
 紙芝居・絵本紹介

『てぶくろ』

みんわ
 ウクライナ民話 エウゲーニー・M・ラチョフ え
 うちだ りさこ やく

<あらすじ>

ゆき なか お かたほう てぶくろ さいしょ
 雪の中、おじいさんがぼつんと落とした片方の手袋。最初に‘くいしんぼうねずみ’が「ここでくらすこととするわ」と手袋にもぐりこみました。そこへ‘ピョンピョンカエル’や、‘はやあしうさぎ’、‘おしゃれぎつね’、‘はいいろおおかみ’、さらには‘きばもちいのしし’まで「ぼくも入れて」と手袋の中へ…今にもはじけそう! しまいには‘のっそりくま’までも仲間入りです。手袋はもう満員!! そこにおじいさんが手袋さがを探しにもどってきました。さあ、いったいどうなるのでしょうか?



ただの手袋がお家うちに…「入れて」「どうぞ」の繰り返しでどんどん大きな動物どうぶつ どうじょうが登場。子ども達の心こころはドキドキです。「本当には入れるかな?」「怖そうな動物がやってきたけど、大丈夫かな?」と心配しんぱいになり、ページをめくるたびにその様子ようすに驚きおどろ、絵本と一緒にハラハラするのです。そこがこのお話の醍醐味だいごみですね。そして物語ものがたりはパチンと音がするようにふと終わり、余韻よゐんがのこります。